

「P & G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」が、 日本の人事部「HR アワード 2016」で特別賞を受賞！ ～P & G が独自開発した研修プログラムの無償提供など、 社外へのダイバーシティ&インクルージョン啓発活動が高く評価～

P & G（プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社、本社：神戸市）は、このたび当社の「P & G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」が、日本の人事部「HR アワード 2016」（主催：日本の人事部、後援：厚生労働省）にて、特別賞を受賞しましたことを、お知らせいたします。

本アワードは、人事系ポータルサイト最大手の「日本の人事部」が、人事・人材開発・労務管理などの各分野において、積極的な活動・挑戦を続けている企業や書籍、サービスなどを表彰するもので、人事や人材開発に関わる全ての企業や個人のレベルアップと、人事分野全体の活性化を目的として2012年より毎年開催されています。

そして今年度の「HR アワード 2016」において、当社の「P & G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」が特別賞を受賞し、2016年11月16日（水）に開催された表彰式に、P & G ヒューマンリソースズ アソシエイトディレクターの臼田美樹が出席いたしました。

このプロジェクトは、経営戦略の一環として「ダイバーシティ&インクルージョン（多様性の受容と活用）」を掲げるP & Gが、2016年3月に発足した社外啓発組織です。「これまで約25年にわたって女性活躍やダイバーシティ&インクルージョンを推進してきた当社のノウハウを、社外に広く提供・共有することで、日本社会・他企業・行政などでの多様性推進と活用に貢献したい」（臼田談）という思いのもと、発足いたしました。

発足以降、シンポジウムやアンケート調査などを通じて「ダイバーシティ&インクルージョン」の意義を広く発信しているほか、P & G が独自に開発した研修プログラムを他の企業や団体に無償で提供しており、社外に向けたこれらの取り組みが、このたびの「HR アワード 2016」において高く評価されました。



【表彰式（中央がP & G 臼田）】



これからも当社では、「P & G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」の活動を通じて、日本社会における「ダイバーシティ&インクルージョン」の更なる推進に貢献してまいります。

■ご参考：P & Gのダイバーシティ&インクルージョンの取り組み

P & Gでは、経営戦略の一環として「ダイバーシティ&インクルージョン（多様性の受容と活用）」を掲げ、「文化」「制度」「スキル」を3本柱に、1992年から約25年にわたって、女性活躍推進、ダイバーシティ&インクルージョンの推進、多様な社員一人ひとりが能力を最大限に発揮できる組織づくりに取り組んでいます。



P & Gのダイバーシティ&インクルージョンを支える3本柱

<文化>

- ・個々の多様性（違い）を互いに理解・尊重
- ・「ダイバーシティ&インクルージョン＝経営戦略」を社内に浸透
- ・社内イベントなどを通じて、社員の意識向上を図る

<制度>

- ・フレックスタイムの進化形「フレックス・ワーク・アワー」（2000年～）
⇒勤務時間を月単位で管理
 - ・在宅勤務の進化形「ロケーション・フリー・デー」（2015年～従来制度を拡充）
⇒育児や介護の理由がなくとも月に5日間、オフィス以外で勤務可能
 - ・時短・在宅勤務の進化形「コンバインド・ワーク」（2015年～従来制度を拡充）
⇒オフィス勤務と在宅勤務を合わせたフルタイム勤務
- など

<スキル>

- ・数百種もの自社開発トレーニングプログラム
 - ・多様性を活かすための「インクルージョン・スキル」を学ぶプログラム
- など

社外啓発組織「P & G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」

P & Gでは2016年3月に、社外啓発組織「P & G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」を発足いたしました。同プロジェクトでは、ダイバーシティ&インクルージョンの啓発活動と、P & Gが独自に開発したダイバーシティ&インクルージョン研修プログラムの無償提供を軸に、他企業へのレクチャーやヒアリングなども行っています。

【活動①】

ダイバーシティ&インクルージョンの啓発



「プレスセミナー」「アンケート調査」「シンポジウム」などを通じて、「ダイバーシティ&インクルージョン」の意義を啓発

【活動②】

P & Gの研修プログラムを社外に無償提供



P & Gが開発したダイバーシティ&インクルージョンの研修プログラムを、他の企業や団体に無償で提供（P & G社員がトレーナーとして訪問し、実施）